成果の説明書

(氏名) 髙橋　栄作	(学部) 地域政策学部 地域づくり学科

1　重要事項

(学術論文)
Analyses of Model Utterances for EFL Learners. July 2018.
Studies in Comparative Culture No. 132

(口頭発表)
1. 日本人大学生英語学習者の発話する英語母音について
2018年5月18日~20日
日本比較文化学会第40回全国大会　2018年度日本比較文化学会国際学術大会

2. An Analysis of Japanese Utterances in English
1st International Asia Congress
From 13th to 15th July 2018, Adam Mickiewicz University

(学会活動)
1. 日本比較文化学会理事

2. 外国語教育メディア学会関東支部認知科学研究研修部会講師
2018年 11月16日
足利工業大学　本館　6階　睡眠学習センター　NIRS 実験室
テーマ：音読・黙読による読解時の脳科学データの活用法
(NIRS を活用した実験の可能性)

(教育)
英語新カリキュラムの実践と学生が学んだことを表現する機会のための English Café(英語会話)の企画・運営をおこなった。また、夏期休暇中に開講された TOEIC スコアアップ講座では、TOEIC のスコアアップにつながる解法のテクニックを学生が効率的に学べるように企画・運営に従事した。その他、教員免許状更新講習の講師を務めた。

(学生指導)
陸上競技部の監督として学生指導をおこなった.
第97回 関東学生陸上競技対抗選手権大会出場　於）相模原ギオンスタジアム(神奈川)
第95回 東京箱根間往復大学駅伝競走予選会出場　於）国営昭和記念公園周辺
第11回 高崎経済大学陸上競技会主催　於）高崎市浜川競技場
第 1回 高崎経済大学長距離記録会主催　於）高崎市浜川競技場

2　その他の事項
財団法人　群馬陸上競技協会理事
高崎市陸上競技協会理事

3　次年度以降の計画・抱負
前年度に続き以下を計画・抱負とする。
1. 認知・神経科学を言語獲得・習得研究に応用していきたい。
2. 理論言語学の枠組みで、言語獲得・習得のメカニズムを解明したい。
3. 部活動を通して学生の「肉体」「精神力」の強化をおこないたい。